






2021年度・2022年度 北陸の経済見通し

【北陸経済の見通し】







○2021（令和3）年度

2021年度の北陸経済は、国内外で新型コロナウイルス感染症の影響から経済が回復していることを受け、生産面では製造業を中心に回復が進んだ。需要面では製造業の回復に伴って域外取引が大きく持ち直し、個人消費をはじめとする民間需要も全国と比較して回復のペースを強めている。北陸新幹線建設工事のピークアウトによる公共事業の減少が下押し要因として働くものの、経済成長率は名目+3.2%、実質+3.9%と全国水準（名目+2.0%、実質+2.6%）を上回る見通しである。

経済成長率	名目	+ 3. 2 %	
	実質	+ 3. 9 %	
個人消費		民間在庫	
民間住宅		政府支出	
民間企業設備		公共事業	

○2022（令和4）年度

2022年度は、国内外の経済回復に伴い個人消費・民間企業設備投資などの民間需要が持ち直しの動きを続け、北陸においても緩やかな経済回復が見込まれる。2021年度と同様に公共事業の減少が下押し要因となるものの、経済成長率は名目+2.9%、実質+2.9%程度になるものと予想される。

経済成長率	名目	+ 2. 9 %	
	実質	+ 2. 9 %	
個人消費		民間在庫	
民間住宅		政府支出	
民間企業設備		公共事業	

【国内経済の見通し】

○2021（令和3）年度

新型コロナウイルス感染症の影響による前年度の落ち込みから回復途上にあり、数度にわたる緊急事態宣言発動などにより力強さはみられないが、全体として名目で+2.0%、実質で+2.6%のプラス成長となる見通しである。

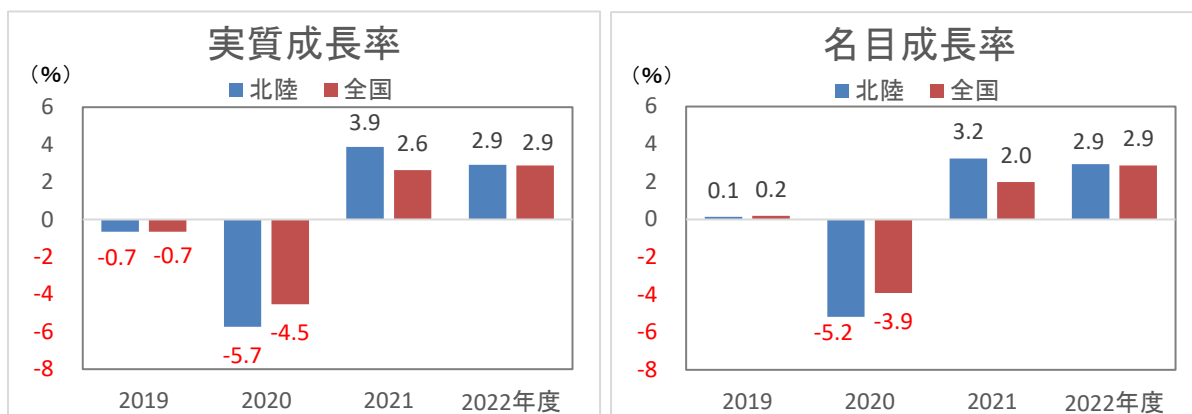
経済成長率	名目	+ 2. 0 %	
	実質	+ 2. 6 %	

○2022（令和4）年度

個人消費、民間企業設備投資など民間需要が緩やかながら持ち直しの動きを続け、全体として名目+2.9%、実質+2.9%の経済成長となり、実質GDPはほぼコロナ前の水準を回復するものと予想される。

経済成長率	名目	+ 2. 9 %	
	実質	+ 2. 9 %	

図表1 北陸・全国の経済成長率



(注) 北陸の成長率は北陸経済研究所による推計値 (2021年度以降は予測値)

全国は2020年度までが実績値、2021年度以降は北陸経済研究所による予測値

図表2 北陸・全国の2021年度、2022年度経済成長見通し (需要項目別増減率・寄与度)

	北陸								全国							
	成長率 (%)				寄与度 (%)				成長率 (%)				寄与度 (%)			
	名目		実質		名目		実質		名目		実質		名目		実質	
	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度
域内(国内)総生産	3.2	2.9	3.9	2.9	***	***	***	***	2.0	2.9	2.6	2.9	***	***	***	***
域内(国内)需要合計	3.2	2.3	2.4	2.4	3.2	2.3	2.4	2.4	2.7	2.5	1.8	2.5	2.7	2.5	1.8	2.5
民間需要	4.0	3.5	3.5	3.5	2.9	2.5	2.6	2.5	3.2	3.0	2.5	3.0	2.3	2.2	1.8	2.2
民間最終消費支出	3.4	2.8	3.5	2.6	1.8	1.5	1.9	1.4	3.1	2.5	3.1	2.4	1.6	1.4	1.7	1.3
民間住宅	12.6	-2.0	7.3	-0.0	0.3	-0.1	0.2	-0.0	4.5	-0.2	-0.5	1.8	0.2	-0.0	-0.0	0.1
民間企業設備	6.3	4.3	4.4	4.5	1.0	0.7	0.7	0.7	4.5	3.2	2.6	3.3	0.7	0.5	0.4	0.5
民間企業在庫純増	***	***	***	***	-0.2	0.4	-0.2	0.4	***	***	***	***	-0.2	0.3	-0.3	0.3
公的需要	1.1	-0.8	-0.4	-0.6	0.3	-0.2	-0.1	-0.2	1.4	1.1	0.0	1.2	0.4	0.3	0.0	0.3
政府最終消費支出	1.6	0.7	0.4	0.8	0.3	0.1	0.1	0.2	2.4	1.4	1.2	1.5	0.5	0.3	0.3	0.3
公的固定資本形成	-0.6	-5.5	-2.9	-5.4	-0.0	-0.3	-0.2	-0.3	-2.2	-0.3	-4.4	-0.1	-0.1	-0.0	-0.2	-0.0
移出入・統計上の不突合(注)	***	***	***	***	0.1	0.6	1.4	0.5	***	***	***	***	-0.7	0.4	0.8	0.4

(注) 全国は純輸出

(成長率予測の前提条件)

- i 世界的には現在も感染拡大が続いているが、ロックダウンなどの強力な行動制限の発動は抑制方向へと向かう
- ii 国内でも2～3カ月程度の周期で感染拡大～沈静化の波が発生すると考えられるが、ワクチン接種の浸透などにより、強力な行動制限の発動や实体经济に及ぼす影響は徐々に縮小していく
- iii 他方、原油・原材料の価格高騰、サプライチェーンの混乱など、コロナ感染拡大とその回復過程で発生した事態の収束には今後1年程度を要する